

### 3 保護者アンケートのご意見より

アンケートには保護者の皆様から貴重なご意見を多数お寄せいただきました。「毎日楽しく登校しています」「とても良い環境で過ごせています」など建設的なご意見が多く、皆様の温かいご理解とご協力は、学校運営の大きな力となっています。

以下、すべてにお答えすることはできませんが、ご質問や改善点等についてのご意見に対して、学校の考えをお知らせします。

#### (1) チャレンジノート〈自主学习ノート〉

「チャレンジノートが習慣となり、継続した学習、学習内容の工夫、集中力の向上等につながっている。」と高く評価されている一方で、「質を高めるために、何をやったかを評価してほしい。やる気を引き出す指導、点検をしてほしい。」とのご意見がありました。

チャレンジノートは、2年生以上の子どもたちに、自主的な学習が定着することをねらいとして行っています。冊数を競う取組ではありません。実際子どもたちがノートに行っている内容は、計算や漢字の練習から、授業の調べ学習を掘り下げたもの、趣味や身近な題材から楽しく学習しているもの、新聞記事に対する自分の意見、日記など、実に様々です。計算問題についても、しっかりと計算過程が残されていたり、振り返りが書かれていたり、家族の励ましが添えられていたり、それぞれの工夫が見られます。

良い取組を紹介していくとともに、その子の頑張りを認めていきたいと思えます。担任の先生の印に加えて、終了したチャレンジノートを校長室に持って来れば、頑張りカードに一言を残すこともしています。9月22日現在、校長室に提出されたノートは、のべ171冊(102人)となりました。

#### (2) 読書〈読書カード〉

「借りた本の冊数ばかり気になって、写真ばかりの本を見ていたので気になった」という数量への片寄りを心配する声がありました。

本が身近にあってほしいと、朝も図書室を開放したり、読書カードに記録をつけたりする活動を継続しており、本校では、多くの子どもが図書室に足を運び、本に親しむ姿が見られます。これらの読書教育の実践については、テレビ局の取材を受け、ニュース番組の中で放映されましたので、ご覧になった方もいらっしゃると思います。

本年度も100冊読書を奨励していますが、高学年になるほど本の厚みも内容も増えるので、冊数だけでは読書の質を押し量れないところがあります。読書カードに各学年のお薦め本を載せたり、読んだ本について感想を尋ねて対話をしたり、読書の楽しさを味わい深めていくことも励ましていきたいと思えます。

#### (3) 算数の少人数のクラス分け

「習熟度別とした場合のクラスのレベルを公表してほしい」とのご意見がありました。

3年生以上で算数の少人数指導を行っています。教材にもよりますが、3・4年生は、3クラスを均等に4クラスに分けて授業を行っています。

5・6年生は、算数にじっくり取り組んでいきたい子どもたちが自分で決めて1クラスに集まり、他の子どもたちはそのままクラスに残って授業を行う方法をとっており、完全な習熟度別ではありません。

#### (4) みつめカード

「以前のように家庭から一言書けるようにしてほしい」とのご意見が複数ありました。

「みつめカード」は学習の様子を確認し励ますためのカード、「連絡帳」はお子さんの様子や相談などをやりとりするノートと使い分けをお願いしているところです。「みつめカード」が家庭学習の定着に活用されますように、より良い形を検討していくとともに、引き続きご家庭のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

#### (5) 連絡帳・学年だより等

コメントや対応に対して感謝をお寄せくださり有り難く思います。「子どもの話を聞くと楽しく学校へ行っているの、安心して送っている」とのお言葉を嬉しく頂戴しました。「連絡帳が他の児童に読まれてしまう」「学年だよりは、月が変わる前の月末に配布してほしい」とのご指摘には今後十分に気を付けてまいります。

## (6) 生徒指導に関して

「子どもに対して高圧的な話し方をする先生がいる」「給食を残さず食べることが難しい場合には、配慮する声掛けをしていただきたい」「下校時の安全のために、どのクラスでも同時刻に終わると良い」とのご指摘がありました。

温もりある学校づくりを目標にしておりますので、このようなご意見を深刻に受け止めています。「ならぬものはならぬ」ではありますが、子ども理解に努め、人権感覚を磨く研修を行い、心に落ちる指導を目指してまいります。下校時刻にも気を付けていきたいと思っております。ご心配なことなどがございましたら、学校にご相談ください。

## (7) 学校外でのあいさつ

「朝の交通指導の際、年々挨拶をしない子が増えている」「知らない人には挨拶をしない指導なのか」とのご意見が複数ありました。

校内では、児童会でも「あいさつ」を重点目標に取り組んでおり、気持ちの良いあいさつを交わす子どもの姿が見られます。しかし、校外では、残念ですが、ご指摘の通り、あいさつが十分ではないと感じています。学校と家庭、地域の皆さんと連携して、あいさつのできる富士北地区の子どもたちを育てていけたらと願っています。

## (8) いじめ対策

「いじめをしない、させないに加え、いじめが起こった場合の対応も挙げてはどうか」とのご意見です。

「いじめアンケート」などで上がった情報はすべて「校内いじめ防止委員会」にあげ、対応しています。早いうちに、友達とのもめごと、不快感、不安感を取り除くことができるように、ご家庭でも気掛かりなことはご相談ください。なお、いじめ等問題行動の対応マニュアルは、中央小学校のホームページに掲載しています。

## (9) ホームページ

「ホームページが見やすくなった。写真も子どもたちのプライバシーに配慮されていて良い。子どもたちの写真のページも更新の頻度もちょうどいい」とのご意見がある一方で、「可能な範囲でもう少し日々の様子を掲載していただけると嬉しい」とのご意見もいただきました。

毎日、子どもたちのいい表情、いい動きに出会いますが、その瞬間を写真に切り取ることはなかなか難しいことです。ホームページ上での発信方法に留意しながら、可能な限りで、お伝えしていけるよう頑張ります。

## (10) プール清掃

「プール納めの時に行えば、プール始めの前に少し水をかけてブラシでこする程度で済み、子どもたちも楽だと思ふ」とのご意見について

学校のプールは地区の防火水槽を兼ねています。プール掃除で水を抜いている期間は消防署に連絡をする必要があります。従って清掃時期は現状通りで行う予定です。

## 〈その他〉

まだまだ以下のような多様なご意見(趣旨を抜粋)をいただいております。取り入れられる事柄については検討していきたいと思っております。

・体験的な学習は大事にしてほしい。・朝マラソンの取り組みに感謝している。・研修テーマ「いきいきと自分を表現し…」は、最も子供に願うことの一つ。一つの答えだけでなく自由な意見を発露しいろいろな考え、個性に触れてほしい。・漢字の小テストを行ってほしい。・入学前に親子で参加できる企画があり、とても安心できた。・運動会については、各種競技ややり方について複数のご意見あり。・授業参観について、親子参加型の機会を設けてほしいなどいくつかの提案があった。・係決め(委員会)では、子どもたち相互の推薦方式を取り入れ適性の有無を判断させてもよい。・学校のトイレをきれいにしてほしい。洋式トイレが少ない。・子供一人一人に災害時ヘルメットを。・アイロンで付ける名札を作してほしい。・グランドデザイン内の用語の説明をしてほしい。・何か目標を立ててベルマニクを集めたらどうか。等々ありがとうございました。